

令和3年度 臨床研究テーマ成果報告書

診療科（部）名：歯科麻酔科
第3期中期目標・中期計画期間中の臨床研究テーマについて該当するものにチェックを入れてください。（塗りつぶし可）
<input type="checkbox"/> 1. 口腔領域における新規組織再生・再建法の開発 <input type="checkbox"/> 2. 高齢者の特性に配慮した口腔疾患の予防法・診断法・治療法の開発 <input type="checkbox"/> 3. 顎口腔機能の維持増進に関する研究 <input type="checkbox"/> 4. 歯科医学臨床教育の質保証に関する研究 <input checked="" type="checkbox"/> 5. その他
研究期間：令和3年3月21日～令和3年8月31日
研究課題名：日本歯科麻酔学指導施設における歯科麻酔管理症例データベース構築に関する研究
<p>研究課題の概要及び成果：日本歯科麻酔学会が認定している全国の歯科麻酔学指導施設（大学病院を含む32施設）では、歯科または口腔外科で処置または手術を受ける患者に対して、歯科麻酔科医が年間約3万5千件の麻酔管理を行っている。本院も歯科麻酔学指導施設の一つであり、常に安心・安全の医療を提供しているが、さらに患者の皆様安心して治療を受けていただくために、各施設の情報を収集し、その情報を全指導施設で共有することが重要であるため、日本歯科麻酔学会の主催のもと、当院も日本歯科麻酔学指導施設の一つとして歯科麻酔管理症例の調査を行い、そのデータを日本歯科麻酔学会に提出した。</p> <p>調査の結果、当院における2014年度～2018年度の歯科麻酔管理症例は、2014年度1346例、2015年度1488例、2016年度1423例、2017年度1447例、2018年度1489例、合計7193例であった。そのうち危機的偶発症をおこした症例数は、2014年度2例、2015年度2例、2016年度2例、2017年度2例、2018年度1例の合計9例であったが、いずれも後遺症等は認めなかった。また、すべて全身麻酔管理症例で起こったものであった。当院における調査データは日本歯科麻酔学会の症例データベース構築ワーキンググループへすでに提供しており、解析および結果報告が行われることになっている。</p>
上記概要・成果に関連する図表等
<p>当該臨床研究が「口の難病プロジェクト」に関連しているか否か下記のBOXのいずれかにチェックを付してください。（塗りつぶし可）</p> <input type="checkbox"/> 関連がある <input checked="" type="checkbox"/> 関連はない